

## ① 水道事業における課題

- ◆ **水需要の減少**
  - ・料金収入の減少による経営の圧迫に対する**支出削減の取組**など
  - ・施設効率性（給水人口1人当たりの施設規模）の確保に向けた施設規模の縮小（**ダウンサイジング**）など
  - ・管内流速の低下により発生する管内滞留水の排出と**水質管理の徹底**
- ◆ **経年化施設の増大**
  - ・適切な**維持管理**による施設の長寿命化（補修等により長く使うこと）
  - ・施設の状況を的確に判断し、最適な時期に**施設を更新**（アセットマネジメント手法）
- ◆ **災害リスクの高まり**
  - ・被害を未然に防ぐための施設の**耐震化事業**の継続実施

- ◆ **企業団からの受水100%** 堺特有の事業背景
  - ・本市では、自ら浄水処理をしておらず、震災時等においては受水停止の可能性があるため、**危機管理対策**として被災後初期に必要と水を市内に貯留していますが、その**運搬給水方法**を確立していくことが必要
- ◆ **漏水・濁水事故の発生** 堺特有の事業背景
  - ・近年発生した幹線管の漏水・濁水事故を教訓とし、**再発防止策や事故発生時の迅速な対応強化**し、**信頼回復**していくことが必要
- ◆ **関係者間の連携** 堺特有の事業背景
  - ・平成16年度から上下水道局を設置しており、今後とも**下水道事業とも連携**した危機管理体制及び技術力の強化が必要
  - ・市民協働の取組を進めるため、**双方向のコミュニケーションの確立**とお客さまが**経営に参画**する仕組みが必要
  - ・さらなるお客さまサービスの向上に向け、**民間ノウハウの導入**など**官民連携**による民間活力の有効活用が必要
  - ・企業団を核とする府域一水道の実現に向け、本市は**南大阪の中核的都市**として**周辺団体との連携の推進**が求められている

## ② 基本理念と3つの挑戦

### 事業運営の基本理念

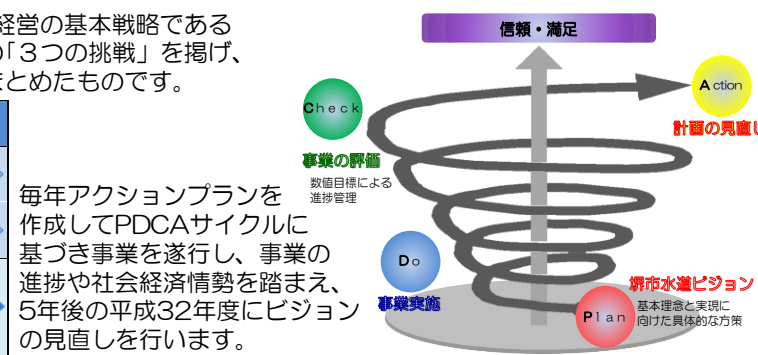
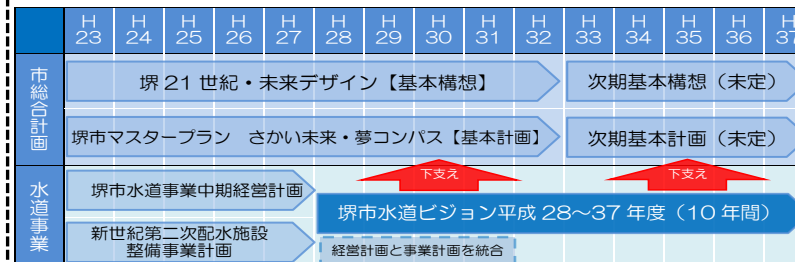
安全安心な水を将来にわたってお届けし、  
お客さまに信頼され、愛される堺の水道

### 3つの挑戦

- ① **「いつでもあんしん堺の水道への挑戦」**  
～人口減少社会においても今の水道サービスレベルを維持します～
- ② **「いのちを守る堺の水道への挑戦」**  
～危機管理体制を強化し被災時・事故時においても水道水を届けます～
- ③ **「しんらいを築く堺の水道への挑戦」**  
～双方向のコミュニケーションと人材育成を強化し、信頼される水道事業をめざします～

## ③ ビジョンの位置づけ、計画期間、推進体制

本ビジョンは、市の総合計画である『堺21世紀・未来デザイン』、都市経営の基本戦略である『さかい未来・夢コンパス』に掲げる将来像の実現に向けて、水道事業の「3つの挑戦」を掲げ、「安全」「強靱」「持続」の観点から、この10年間で取り組むべき方策をまとめたものです。



## ④ 主な事業取組と効果

挑 戦	課 題	施策（8）	事業（25）	投資額（億円）	主 な 数 値 目 標				政令市平均	施 策 効 果			
					指 標	方 向	H26	H32			H37		
いつでもあんしん堺の水道への挑戦	◆ 水需要の減少	安全で安心な水道水【安全】	★水質の管理（水質モニターの整備など）	1.4	水質基準適合率（%）	↓	0.00	0.00	0.00	0.00	◇水質監視の強化、貯水槽水道の管理等により、 <b>安全でおいしい水</b> をお客さまへ供給できます。		
			水安全計画の推進	—	—	—	—	—	—	—	◇徹底した水質事故のリスク管理により、濁水等の <b>水質事故の発生を抑制</b> できます。		
	◆ 経年化施設の増大	耐震化の推進【強靱】	貯水槽水道の管理	—	小規模貯水槽水道調査件数	↑	980	10年で10,000件	—	—	◇徹底した水質事故のリスク管理により、濁水等の <b>水質事故の発生を抑制</b> できます。		
			鉛製給水管取替の促進	9.0	鉛製給水管率（%）	↓	8.1	5.9	4	7.2	◇地震発生時も、配水池での漏水を防ぎ、優先耐震化路線により <b>避難所等への給水を早く再開</b> することができます。		
	◆ 災害リスクの高まり	施設の維持管理と更新【持続】	★優先耐震化路線の構築	78.5	優先耐震化路線耐震化率（%）	↑	56.1	82	92	—	◇地震発生時も、配水池での漏水を防ぎ、優先耐震化路線により <b>避難所等への給水を早く再開</b> することができます。		
			配水池の耐震化	38.0	配水池耐震化率（%）	↑	74.0	78	88	54.3	◇地震発生時も、配水池での漏水を防ぎ、優先耐震化路線により <b>避難所等への給水を早く再開</b> することができます。		
			★幹線管の更新	195.2	幹線管耐震化率（%）	↑	18.7	29.4	34.5	36.5	◇計画的な施設更新により、施設の健全度が保ち、 <b>安定した給水</b> ができます。		
◆ 企業団からの受水100%	◆ 漏水・濁水事故	危機管理対策の推進【強靱】	★配水支管（φ300mm以下）の更新	289.7	総管路耐震化率（%）	↑	21.6	28.6	33.8	20.9	◇適正な維持管理により、施設の長寿命化を実現し、長期的な更新 <b>コストを削減</b> できます。		
			管路の維持管理	4.5	漏水調査実施数（給水区域数）	—	7/21	4/21	検討中	—	◇漏水調査の継続により、漏水の早期発見・修理が可能となり、 <b>漏水量を減らす</b> ことができます。		
			配水池の維持管理	0.5	配水池の劣化調査数（池数）	—	2	0	1	—	◇漏水調査の継続により、漏水の早期発見・修理が可能となり、 <b>漏水量を減らす</b> ことができます。		
			機械・電気・計装設備の更新	35.5	—	—	—	—	—	—	◇漏水調査の継続により、漏水の早期発見・修理が可能となり、 <b>漏水量を減らす</b> ことができます。		
しんらいを築く堺の水道への挑戦	◆ 漏水・濁水事故	持続的な財政運営【持続】	★安定した財政基盤の構築	—	有収率（%）	↑	92.1	—	94.6	92.2	◇財政基盤を強化することで、将来に向かって <b>継続的かつ安定した水道サービスが提供</b> できます。		
			環境負荷の低減【持続】	受水圧を利用した送水システムの整備	—	—	—	—	—	—	—	—	◇水需要の減少への対応や経年劣化した水道施設の更新財源などについては、水道料金の引き上げに頼ることなく、 <b>現行の料金水準の維持</b> をめざします。
					—	—	—	—	—	—	—	—	◇温室効果ガスの排出量を抑制し <b>地球温暖化防止に寄与</b> します。
					—	—	—	—	—	—	—	—	また、小水力発電による電力を売却し、 <b>収入を確保</b> できます。
					—	—	—	—	—	—	—	—	◇温室効果ガスの排出量を抑制し <b>地球温暖化防止に寄与</b> します。
◆ 関係者間の連携	人材育成の充実・運営体制の強化【持続】	★自ら考え行動する職員の育成	—	—	—	—	—	—	—	—	◇災害発生直後において、避難所等の備蓄水、配水池等の給水拠点からの運搬により、 <b>指定避難所などへの給水を確保</b> します。		
			—	—	—	—	—	—	—	—	◇緊急連絡管、自家発電設備の整備により、 <b>災害時の断水時間を短く</b> することができます。		
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇下水道事業と連携し、指定避難所における <b>上下水道機能を確保</b> します。	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇双方向のコミュニケーションと市民協働の推進により、お客さま <b>ニーズを効果的に事業経営に反映</b> していくことができます。	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇委託事業者と連携し、 <b>おもてなし（ホスピタリティ）</b> を意識した接遇を行います。	

「★」＝重点事業

注) 方向とは、指標のめざすべき方向性を示す

注) 政令市平均は、平成25年度の業務目標（PI）から算出